

平成 20 年 死亡災害発生状況（確定）

秋田労働局

No	署別	発生年月	業種名	年齢 経 験 (○年以上 ○年未満)	事故の型	起因物	発 生 状 況
1	大曲	H20 1月	鉄骨・鉄筋 コンクリ ート造家 屋建築工 事 (3-2-1)	50 歳代 30 年以上	はさまれ、 巻き込ま れ	エレベータ ー	立体駐車場建築工事現場において、被災者は地上から 11 段目（高さ約 17m）となる自動車格納場所にて、内側から外壁用鋼板を金具で固定する作業を行っていたところ、工事用エレベーターとして流用していた自動車運搬用昇降機のカウンターウエイトが降りてきて、鉄骨の胴縁との間に頭部をはさまれた。
2	秋田	H20 2月	その他建 設工事 (3-2-9)	20 歳代 1 年～5 年	交通事故 (道路)	トラック	墓石の加工作業を行うため、由利本荘市の加工場に向け国道 7 号線を走行中、対向車線へ進入し大型トラックと正面衝突した。
3	秋田	H20 2月	酒類製造 業 (1-1-5)	20 歳代 1 年未満	有害物と の接触	異常環境等	作業予定時刻に被災者が作業現場に姿を現さなかったため、工場内を捜していたところ、仕込室のもろみの入ったタンクの中に転落しているのが発見された。
4	大館	H20 7月	道路建設 工事 (3-1-6)	60 歳代 30 年以上	墜落、転落	掘削用機械	道路災害復旧工事現場において、作業終了に伴い現場内の後片付けのため、現場内に設置していたドラグ・ショベルを被災者がトレーラーにて別の場所に移動し、荷台からドラグ・ショベルを降ろそうと操作したとき、荷台の脇からドラグ・ショベルが滑り落ち、道路脇の斜面（高さ約 17m）をドラグ・ショベルとともに転落し、全身を強打した。
5	秋田	H20 7月	航空業 (4-1-3)	50 歳代 30 年以上	交通事故 (その他)	その他の乗 物	事故の取材のため、操縦士を含む 4 名が搭乗したヘリコプターが青森県大間沖に墜落し、3 日後に海底に沈んでいる機体が発見された。
40 歳代 20 年～30 年							
7	秋田	H20 9月	無機・有機 化学工業 製品製造 業 (1-8-1)	60 歳代 30 年以上	飛来、落下	荷姿の物	フォークリフトを使用して、フレコンバック（重量 1t）を別の倉庫へ移動作業中、運搬元の倉庫で待機していた労働者が、フォークリフト運転者が運搬元の倉庫に戻ってこないことを不審に思い、運搬先の倉庫の状況を確認したところ、フレコンバックの下敷きとなっていた。
8	大曲	H20 10月	その他の 事業 (17-2-9)	60 歳代 1 年～5 年	墜落、転落	建築物・構築 物	被災者が籾殻サイロ（高さ 12.14m、幅 6.74m、奥行き 10.3 m で、その底に 2 箇所の排出口がある構造）内に入り、籾殻の均し作業を行っていたところ、サイロ内に貯まった籾殻をトラック荷台に積み込みするため、サイロ底の排出口を開けた時、サイロ内の籾殻が流動し、中にいた被災者らが籾殻内に吸い込まれ被災した。
9				40 歳代 1 年～5 年			

No	署別	発生年月	業種名	年齢 経 験 (○年以上 ○年未満)	事故の型	起因物	発 生 状 況
10	大曲	H20 10月	その他の 建設業 (3-3-9)	50歳代	交通事故 (道路)	乗 用 車	工事現場に向かうため、会社所有のライトバンに2名が同乗し国道13号線を走行中、対向車線に進入しトラックと正面衝突した。
11				20年～30年 20歳代 1年～5年			
12	大館	H20 11月	木材伐出 業 (6-2-1)	70歳代 1年～2年	崩壊, 倒壊	立 木 等	間伐作業において、放置していたかかり木（杉、高さ20m、胸高直径24cm）が何らかの原因により外れ、かかり木の下で伐倒作業を行っていた被災者にかかり木が倒れた。
13	能代	H20 12月	製材業 (1-4-1)	60歳代 10年～20年	はさまれ、 巻き込まれ	動力伝導 機 構	工場地下にある、おが屑を運搬するベルトコンベヤーの搬送ベルトの補修作業において、搬送ベルトの補修作業が終了し、搬送ベルトを再起動させるため、回転軸の動力を搬送ベルトに伝達させるためのプーリーへ布ベルトを取り付ける作業を行っていたところ、回転軸の動力を遮断しなかったことから、回転軸のジョイント部の突起部分に着用していたオーバーのフードが引っかかり、回転軸の回転とともに被災者の体も巻き込まれた。
14	横手	H20 12月	上下水道 工事 (3-1-10)	50歳代 1年～5年	転 倒	掘削用機械	上水道工事の準備作業として、資材置場に積載形トラッククレーン（以下「積載形クレーン」という。）に積んできたドラグ・ショベル（以下「ショベル」という。）を荷台から降ろす作業中、積載形クレーンのアウトリガを伸ばして荷台を15度に傾斜させ、ショベルを前進させて降ろそうとしたところ、ショベルが荷台上で滑走し、荷台から外れたはずみでショベルが転倒し、運転していた被災者が振り落とされた後、倒れてきたショベルの下敷きになった。